

山行報告

■三草山 423m

<ゆっくりリズム山行>

- 日 程：1月14日(水)
- 参加者：A班 L藤原 SL中村 上田 岡田(淳) 喜田 坂本 佐野
B班 L藤本 SL春本 田中(重) 田中(由) 松本 松田 三木(知) 山下(永)
- 行動記録：山口登山口 9:30 発～分岐(9:47 着)～展望ポイント(10:01 着)10:10 発～
277m地点(10:20 着)10:25 発～三草山頂上(11:15 着)11:50 発～277m地点
(12:35 着)12:40 発～山口登山口(13:15 着)

◆新春の播磨小富士

喜田

新春最初の山行は、「ふるさと兵庫100山」の三草山を選びました。

当日は風もなく晴天のもと、山口登山口の駐車場に15名の会員が集まりました。

この登山口には広い駐車場ときれいなトイレが完備されており、登る前からテンションも上がります。出発時には気温が低くて重ね着をしていたのですが、歩き出すとすぐに汗が出てきました。登山道は当初なだらかな土でしたが、徐々に岩場、ガレ場となりました。しかし、急登箇所には全て手すり状に鎖が張られており、下草もなくきれいに整備されていたので、ペースを落とすこともなく1時間30分で頂上(423.9m)に到着しました。



山頂は360度視界が開けており、北側は播磨と丹波の山々と京都に通じる街道が見渡せ、南側は六甲山、明石大橋、加古川・高砂の工業地帯から遠くには淡路島まで見渡せました。中世において、山頂に山城が築かれていたというのも納得できます。

山頂の広場にはシンボル塔、記念碑、方位案内盤、三草山神社、月例登山スタンプ箱の他にベンチが多数設置されており、皆さん思い思いに腰かけてゆっくりと昼食タイムを楽しみました。月例登山スタンプ箱の中には月替わりのスタンプと自由記載ノートがあり、年間登山達成を目指しておられる方も多数いらっしゃるようでした。また、昭和50年に遊歩道整備が完成した記念碑の内容から、この登山道が半世紀以上前から地域の方に親しまれ大切にされていることが窺えました。

帰りも同じコースで皆さん難なくスムーズに下山されて、山口登山口まで戻ってきました。

三草山は源平合戦の古戦場として有名なだけでなく、現在も多くの方が健康増進に登山を行い、行政も一丸となって登山道の整備や立て看板『119番通報には次の番号を伝えてください No〇』を設置するなど、高齢者でも安全に登山が楽しめる素晴らしい山でした。この境界は「加東アルプス」と呼ばれているそうですが、これまで登った「播磨アルプス」、「加西アルプス」、「小野アルプス」に加えて、自宅から全て30分程で行けるなんて本当にラッキーだと

思います。

リーダーを始め参加者の皆さんお疲れさまでした。今回とはルートが異なる「近本ロード」なる周遊コースもあるそうですので、近いうちにぜひチャレンジしましょう。



■石の宝殿から竜山

- 日 程：1月18日(日)
- 参加者：L砂川(延) SL森本 池田 内海 大谷 佐々木 砂川(美) 林
- 行動記録：総合運動公園 10:00 発～石の宝殿・資料館(10:30 着)～石の宝殿山頂あずまや(11:00 着)～加茂神社(11:30 着)～観瀆廠～竜山頂上(12:00 着)～総合運動公園(12:30 着)

◆晴天に恵まれ竜山山頂から素晴らしい眺めでした

砂川(延)

地元でありながら訪れる機会に恵まれず、高御位山への行き帰りに眺めるばかりでした。かつて、小学生だったころには遠足で荒井小学校から歩いて行ったことが、懐かしく思い出され、今回計画に揚げ実行することで思いが実現した。

総合運動公園から西に石の宝殿に向かい、先ず石の宝殿の入り口にある社務所・資料館を訪ねて資料館の管理者から、石の宝殿についての詳しい説明を受けた。



その後、本殿にある浮石の周りを一周して見学、こんなに大きな石が本当に浮いているのかな?と思った。見学後、神社裏から石段を登って山頂の“あずまや”に上がり、姫路城の方を眺めるが、眺める先にある樹木が邪魔をしており見えなかった。

下山後は神社散策コースをたどって、伊保の山の神、加茂神社にお参りして長い石段で「観瀆廠」に上がり、瀬戸内海を一望、遙か彼方に見える四国の山々から、瀬戸内に浮かぶ家島などの島々を眺めて、更に石段を上り詰めた尾根に上がり、竜山頂上を目指して歩く。

竜山頂上からは四方八方の素晴らしい眺めで、西には姫路城、北には高御位山の連山、東には六甲連山・南には瀬戸内海に浮かぶ島々から遠くは四国が霞んでいるのが何うことができた。

竜山の頂上がこんなに素晴らしい眺めが出来ることを改めて思い知った。

下山は総合運動公園に向かって下山して、お昼過ぎには解散することとなった。

高砂の近くにこんなに良い山があることを改めて知り、季節を変えて又、歩きたいと思ったところだ。



■宍粟・東山(雪山歩行)

＜アルプ山行＞

- 日 程：2月8日(日)
- 参加者：L春本 SL須増 池田 平井
- 行動記録：フォレストステーション波賀 11:29 発～メイプルロード2号線分岐(12:17 着)
尾根コース登山口(12:41 着)13:18 発～メイプルロード2号線分岐
(13:31 着)13:32 発～フォレストステーション波賀(14:01 着)

◆「東山 雪山歩行」

池田

兵庫県では警報級の大雪となり山行当日に善防公民館に8:00に集合！

春本さん、須増さん、池田の3人で宍粟市役所まで1台で乗り合う。平井さんの車に全員乗り合いフォレストステーション波賀町に向かう。10:00に到着し出発したのは11:00頃だった様にも思う。雪山に来たのはもう10年ほど前くらいになるのかな？ワカンを持ってると言うだけで参加させていただいた(笑)すみません。装備は一度春本さんに教示して頂いていたので装着は早かったが念入りに時間を掛ける事にした。久しぶりの積雪。駐車場あたりは積雪が少なく歩きづらかったが雪が深くなるにつれワカンが効力を発揮してくれるのはワカンに感謝だと実感。

猛吹雪を想定していたが例年の雪？が降り続いてたのには感謝。

先頭の春本さんが振り向きストックでチョンチョン。目線を落とすと山から流れる水の配管だった。



ワカンを引っ掛けると転びそうになるので大股で渡る。途中、休憩どきに平井さんのワカンの装着不備が起き安全点検を終え登り始める。登山口までの三分の一程であると言うのにすごく歩いた様な感がある。

横殴りの雪が吹き谷の方を見ると粉雪が勢いよく吹き上がり幻想的であった。

持病の膝の痛みで遅れをとりながらも更に歩く。

登山口はまだかまだかと祈りつつ手前の小屋の軒下で昼食をとる。13:00。

途中ストックの不具合で須増さんから貸していただきました。ありがとうございます。

準備不足を反省。

本日は登山口までの距離だったが私には実りある山行だった。

フォレストステーションに戻り本日の労いのお風呂に心も身体も温まり帰路へと向かう。

善防公民館に戻ると“行きは良い良い帰りは怖い”

私の車は雪で覆われワイパーは固まり帰れそうにない。回復を待ち帰路につく。

本日の山行は信頼する山遊会の方々に感謝です。心配してくださった方々にも感謝します。ありがとうございました。

“余談ですが以前、好日山荘で買った登山靴のシューズ袋が須増さんと同じで間違って靴を履き全く違和感なく歩いていると僕の靴ですと言われるまで気が付かなかったのには猛反省します。”



★「宍粟・東山(雪山歩行)」リーダーから一言

春本

当日は有ってほしかった雪が降りすぎてアクセスに苦労しました。駐車場からいきなりワカンが必要になるなど時間が経ってしまう。

私たちがついたころ 10 人ほどのパーティが出発されてましたがコースは不明で、私たちがやっと着いた登山口で三人の男女がツボ足で下山されていたので、集合写真をお願いしました。(どうやら逆コースで登頂されたみたいでした)

歩行中は風もなく衣服調整したくなるくらい寒さは感じませんでしたが、温泉で温まって帰路の車道では視界ゼロのホワイトアウトがありました。

ミラノ五輪が始まっていますが、雪山ならではの魅力を一番身近に行ける東山ですから装備をそろえてお勧めしたいです。

